

どこまでできたの？ 交流館

歴史と未来の交流館整備通信 開館直前特大号

「東海村の歴史や文化の発信拠点」「子どもたちの体験や遊びを通じた活動拠点」として幅広い世代が交流し郷土愛を育み、にぎわいをつくる生涯学習の拠点施設となる「歴史と未来の交流館」。交流館の名称は長らく仮称で呼ばれてきましたが、令和3年3月議会での承認を受け、正式に「歴史と未来の交流館」に決定しました。今回は開館直前特大号として、開館記念イベントや施設の概要、交流館を拠点とする各種事業等についてご紹介します。



【問い合わせ】生涯学習課歴史と未来の交流館整備推進室(歴史と未来の交流館内 ☎287-0851)

7月24日(土)午前11時 交流館とカフェが同時オープン！！

交流館の開館に当たり、開館記念式典と開館セレモニーを開催します。本来であれば、多くの皆さんをお招きしたいところですが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、式典は開館前日に関係者のみで執り行います。開館当日に行うセレモニーは、どなたでも観覧できますので、ぜひお越しください。※混雑回避のため、入館をお待ちいただく場合があります。

ぜひ、お越しください！開館セレモニー

期日／7月24日(土) 時間／午前11時から

【内 容】

▽東海村吹奏楽団によるファンファーレ

▽村長、教育長、村内小中学生によるテープカット

開館から約1か月間、開館記念イベントが盛りだくさん！

交流館では、開館を記念したさまざまなイベントを企画しています。感染症拡大防止のため、期間を約1か月間設け、分散して実施します。主な開館記念イベント等について紹介しますので、ぜひご来館ください。

開館記念特別展示「東海村時空マップ～時の旅人～」



床面に投影された東海村の地図の上に立つと、立った場所の過去や現在の写真や動画が足元に広がるなど、人の動きに反応する参加体験型の展示です。会場内の「未来ポスト」に村の未来の様子を描いた絵を投函すると、展示の一部となって映し出されますので、ぜひ参加してみてください。

ぜひ、ご参加ください！「館内イベント」

■主なイベント

▽交流館など解きマラソン ▽ツリークライミング(外)

▽博物館長講座(外)▽展示解説 ほか

さまざまなゲストが出演！「交流広場イベント」

■主な出演者

▽東海村少年少女合唱団 ▽東海中・東海南中吹奏楽部

▽東海高校 JAZZバンド部 ▽ファニーず ▽東海太鼓保存会

▽東海村高校生会 ▽東海村吹奏楽団 ほか

※イベントの内容や出演者は変更となる場合があります。詳細は、館内チラシまたは村公式ホームページをご覧ください。

「KUROMATSU COFFEE」も着々と準備中！

歴史と未来の交流館と同日にオープンする併設カフェ「KUROMATSU COFFEE」。コーヒーやサンドウィッチなどが味わえ、村民の皆さんの憩いの場の一つとなるよう、オープンへの準備を進めています。来館の際は、ぜひお立ち寄りください。



施設の概要

開館時間	▽9:00～19:00(火～金曜日) ▽9:00～17:00(土・日曜日、祝日)
休館日	▽月曜日(月曜日が祝日のときは翌平日) ▽祝日の翌日 ▽年末年始(12月29日～1月3日)
入館料	無料
駐車場	▽駐車場は交流館向かいの文化センター側にあります(7月10日(土)から利用可)。道路を横断する際は、必ず横断歩道をご利用ください。 ▽交流館敷地内の駐車場は、「思いやり駐車場」(3台分)のみとなっています。
その他	カフェの営業時間は、9:00～17:00(火～日曜日、祝日)となります。休業日は、交流館と同様です。

アクセス

▽JR東海駅より徒歩10分

▽東海スマートICより車で10分



施設の利用について

お願い

- ▽館内への飲食物の持ち込みはご遠慮ください。
※飲食をする場合は、屋外のテーブルやベンチをご利用ください。
- ▽介助犬等を除く、ペットの同伴はご遠慮ください。

感染症への対策について

- ▽37.5℃以上の発熱がある方や体調が優れない方は、ご利用をお控えください。
- ▽マスクの着用・手指消毒をお願いします。
- ▽利用する際は、他の利用者との一定の間隔を空けてください。混雑するときは、入場を制限する場合があります。

各エリアの利用方法

展示室1 (入退室自由)

展示室2 **企画展示室** (入退室自由)

郷土研究室 (自由利用、受付名簿への記入あり)

交流スペース (自由利用)

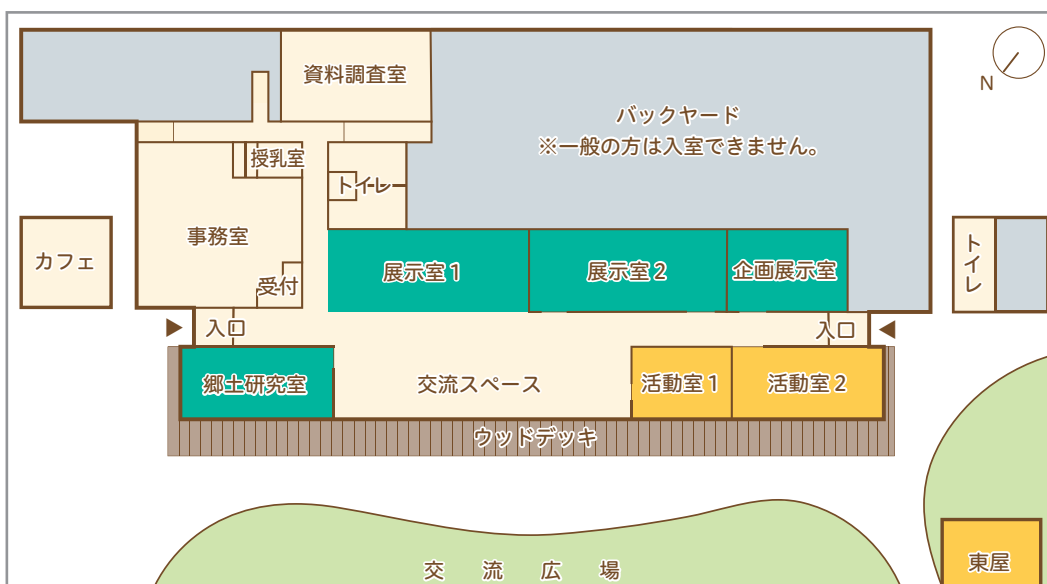
ウッドデッキ **交流広場** (自由利用)

▽ボールやスケートボードの利用はできません。

▽自転車やバイクの乗り入れは禁止です。

▽敷地内での飲酒・喫煙は禁止です。

活動室1・2 **あずまや東屋** (事前予約、関係団体のみ利用可)



フロアマップ

ルールを守って、
楽しく安全に、
交流館を利用してほしい
ぞー!



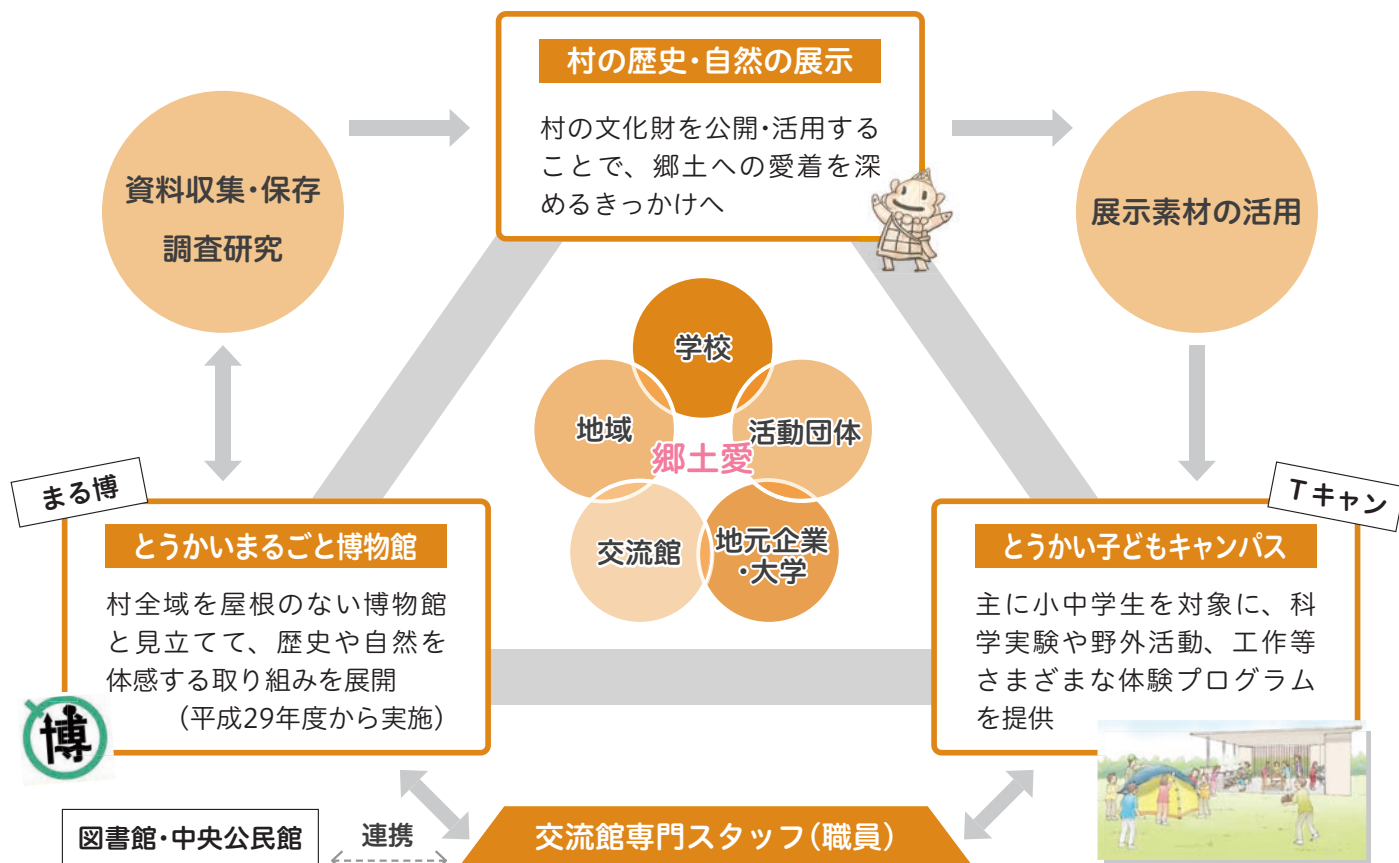
▲はにわの妖精
「はにぞう」



交流館のキーワードは「見る」「触れる」「体験する」「交流する」

各事業が連携し、よりよい体験の場等を提供します！

歴史と未来の交流館は、博物館と活動施設の2つの機能をもつ複合施設です。この特性を生かし、歴史、自然、科学等を通じた体験活動や多世代間の交流の場を皆さんへ提供することで、村民の活動や交流を促進し、地域の活性化へとつなげます。生涯学習施設の拠点となる当館では、主に次の3つの事業に力を入れて取り組みます。なお、各事業は下図のとおり、連携し展開していきます。

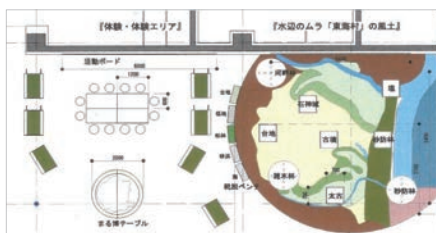


基本展示・特別展示事業

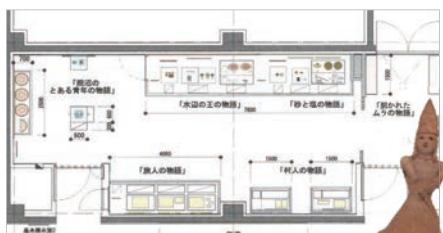
村所蔵文化財の公開・活用により、誰もが村の歴史や自然を学び、郷土への愛着を深めることを目的とします。

■主な事業の内容 ▽展示室1・2、企画展示室におけるテーマを設けた展示 ▽学びを深めるための展示図録発行

【展示室1】床地図(じゅうたん)の上に立つ「歴史BOX」や擬木、ペーパークラフト等で、村の環境を体感 ※床地図に乗るときは靴を脱いでください。



【展示室2】村の自然環境の中で営まれてきた人々の歴史について、展示室全体を1冊の本に見立て、資料や出土品とともに6つの物語から学ぶ



【企画展示室】展示室1・2では伝えきれない東海村の歴史や自然について、定期的に内容を変えながら展示





「とうかいまると博物館」実施事業



村全域を“屋根のない博物館”と見立て、歴史を体感し、自然に親しみ郷土愛を育むことを目的とします。

■主な事業の内容 ▽フィールドワークや講座等のイベント開催 ▽まる博研究員の養成(交流館や地域で活躍できる人材の育成)▽文化財解説板や案内看板等の整備

まる博研究員養成講座(例)▼

歴史講座	自然講座	体験・フィールドワーク
東海村の縄文文化	東海村の自然環境	縄文土器づくり
東海村の中世	秋の植物	村内の古墳巡り
近現代の東海村	昆虫の世界	植物、地層巡り
村の歴史文化の特徴	東海村の地質	冬の野鳥観察

現地での活動例

村内各所で、自然や歴史等に親しむ活動を実施しています。

【主なイベント】▽石神城と塩の道を巡るツアー(石神城址公園ほか) ▽歴史さんぽ in 竹瓦(竹瓦) ▽サギのコロニー観察会(久慈川) ほか

「とうかい子どもキャンパス」開催事業

▽多くの体験を通じた地域の再発見や新たな気づき、村への誇りや郷土愛の醸成▽プログラム体験をきっかけとした住民同士のつながり、地域の活性化▽地域の人材を活用した講師陣の生きがいづくり——を目的としています。

■主な事業の内容 ▽小中学生へのさまざまな体験プログラムの提供 ▽達人講師による新たな講師の育成



交流館副館長(博物館長)をご紹介します！

博物館部分を総括する交流館副館長(博物館長)に、自然分野を専門とする安嶋隆さんが着任しました(施設全体を総括する交流館長は生涯学習課長が兼務)。副館長のあいさつとともにご紹介します。



交流館副館長
あじま たかし
安嶋 隆 さん

自然分野(植物地理・分類学・生態学)が専門。

【略歴】

茨城大学教育学部卒、金沢大学大学院理学研究科修了。高校教諭、東海村自然調査団副団長、東海村文化財保護審議会委員などを歴任。現在は、茨城女子短期大学非常勤講師、NHKカルチャー講座水戸教室講師を兼務。自然調査やフィールドワーク、植物に関する講座等で幅広く活躍しています。

■人と人とのつながりを大切に、施設運営に取り組みます

交流館は、「人はどこかでつながっている」という考えの基、人と人のネットワークづくりを大切にしていきたいと思います。私は植物が専門ですが、いにしえから植物と人々の生活は密接に関わっており、植物の名前の由来や利用から歴史を感じることもできます。

交流館では、村の地形の成り立ちや自然、そして風土の上に成り立つ人々の歴史について、展示

だけではなく、体験活動等を通して楽しく学ぶことができます。また、交流館には、考古学や歴史、自然系の4人の学芸員、理科活動専門員や社会教育主事など、さまざまな分野に精通したスタッフ(職員)がいます。

私も学芸員や活動団体の皆さんと一緒に、講座やフィールドワークなどに楽しく取り組んでいきたいと思っています。皆様のご来館をお待ちしています。